

篠井竹の門 篠井竹 俳人、歌人、俳畫家。明治四年十月十六日加賀國
生れ、大正十四年二月二十九日歿（二八七—一九五）。舊姓向田、本名虎
次郎。別號四石、四石主人、四石山人、四石徹人、四石道人、松杉窟、
此君、此君生、獨苦寒、白山人、竹之門、竹廬門、竹門、篠井生、虎
雪の村人等。北陸新報社を経て北一合資會社勤務。新聞『日本』俳壇
に投稿し、寺野守水老、山口花笠等と越友會を興した。『ち俳誌』『海
紅』に加はり、更に『畫附』を同誌と發刊。『高岡新報』俳壇選者。
一方俳畫、短歌をも能くした。北陸地方俳壇の雄。歌人篠井嘉一はその
一子。

著書 『せみしぐれ』春艸集（一）（合著・武定鈔七編、明治二十五年八
月、二十五日大阪・金尾文淵堂書店）、『竹の門句集』（木津瑩雪編、
大正十年四月）『千八百高山・高陵社』、『篠井竹の門歌集』（篠井と
み編、昭和四十九年五月十日短歌新聞社）等。